

第1回 ボランティア市民活動推進協議会会議録

1. 開催日時 平成26年7月29日(火) 19時00分から20時30分
2. 場 所 四国中央市保健センター1F 集団検診室
3. 公開又は
非公開の別 公開
4. 出席者 (会長)大西 誠二(副会長)渡邊 吉子
(委員)鈴木 千代子、鎌倉 裕基
新田 浩介、石川 誠二
(欠席委員)三鍋 公一郎、西山 由美子、石水 雅人
(事務局)ボランティア市民活動センター長
市民交流課職員3名
5. 傍聴者 なし
6. 会議内容
 1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 議事内容
 - (1) 第2次ボランティア市民活動推進計画について
 - (2) ボランティア市民活動センターの事業計画について
 - (3) その他
 4. 閉会
7. 会議の概要 次頁

	○ 四国中央市第2次ボランティア市民活動推進計画について
委員	今回作成された計画の冊子はどこに配布していますか。
事務局	今現在は、市のホームページ上だけの掲載となっています。
委員	立派な計画ができたのだから、広く周知してはどうか。 この第2次ボランティア市民活動推進計画は、平成26年度から30年度の5年間の推進期間となっているが、どのように計画を進めていくか進行管理とかいつまでにここに記載されている計画を実施するのかといった工程表のようなものが必要ではないか。また、ボランティア市民活動センターの年度毎の事業計画とは、連動していないといけないと思う。
事務局	広く周知するために図書館など公共施設に備え付けたいと考えます。また、この第2次ボランティア市民活動推進計画は、平成19年作成の第1次計画の推進項目の大半を引き継いでおりますので、現在進行形で、計画実施にむけ推進中でございます。よって今年度、重点的に取り組んでいく項目についてご説明させていただきましたので、それに沿いまして本計画を実施させていただきます。
センター長	ボランティア市民活動センターの広報・啓発活動についてですが、センターのチラシやパンフレットを作成します。パンフレットについては、前回作成したものと同様なものを考えています。
	○ ボランティア市民活動センターの事業計画について
委員	社協で夏休みに行われていたワークキャンプが今年からなくなった理由を聞かせて下さい。
センター長	福祉教育における社会状況が進み、社協が加わらなくても、学校が直接施設等に依頼できるようになったことと、学校に総合の時間が設けられて機会が増えたことがおもな理由です。
委員	今年度ですが、愛媛県の社協が市内にある介護施設で介護ボランティアを募ったのだが、時間的な制約などもあり、参加者が集まらなかった。ワークキャンプなど市の社協が事業計画に入れて実施していたので、より多くの人に周知でき参加者が多かったし、そのほかでも市社協が施設などとの間に入ってコーディネートしてくれたほうが、スムーズに行く。それに、中高生時代の介護などボランティアの経験は、将来自分の仕事を考える上でも大変意義が深い。
委員	私は、高校の時にワークキャンプに参加しました。いいものは、続けるべきと思います。
センター長	これは、社協の業務が幅広くなり、事業整理の中で役割を終えたり、社協が実施しなくても各施設・団体等で実施できるものは、引き継ぐなどスクラップアンドビルドで事業を仕分けした結果、ワークキャンプも手を引いたのが現状である。
委員	NPOは、利益が出るのはいけないので、融資等を受けることは、ダメなのではないですか。

事務局	<p>利益を出してはいけないのではなくて、その利益を人件費、役員報酬などに当てるのがダメです。本来の事業にその利益を充当するのは可能です。ですので、事業を運営するのに資金が必要なことから融資を受けることができる制度が検討されています。</p>
会長	<p>事業にはお金がかかるので、資金繰りに困っている団体もいる。公共の事業を受託し、事業費を受け入れするところもあります。事業をする場合には、資金が必要になる。</p>
センター長	<p>市内では、障がい者支援の分野でまだまだ支援が足りていなく、事業を実施したい場合、組織を立ち上げる際には運転資金が必要になりますし、NPO 法人に認定されると、毎年度の事業や会計などの報告が必要になります。こういったことから、NPO 法人の会計講座などが各地で開かれています。</p> <p>今年度につきましては、NPO 法人えひめリソースセンターにお願いしまして10月後半から7回シリーズで研修会を実施する予定としております。</p>
委員	<p>研修会の内容は？ また、7回シリーズを通して連続して参加しなければいけないのか？</p>
センター長	<p>内容は後日、チラシなどでお知らせします。また、1回だけの単発の申し込みも可能ということで考えています。</p> <p>○ その他について</p>
事務局	<p>国体に関することになりますが、3年後に開催されるえひめ国体に向けた組織の体制づくりが進んでおります。この中で、官民一体で協働による開催づくりということで、住民が運営ボランティアをはじめ民泊や清掃、花いっぱい運動などで参画をすることによりボランティアに対するきっかけづくりになるのではないかと考えます。現在準備委員会に係る各専門部会が開かれ基本計画が作成されておりますので、今後それに基づく実施要綱により、市民の皆さんにボランティアの呼びかけ等が具体的に周知されてくると思います。</p>
会長	<p>8月19日に準備委員会から移行した実行委員会の設立総会が開催されると聞いてますので、これから3年後に向けた事業が具現化されると思います。</p>
事務局	<p>計画の第8章の地域コミュニティの活性化事業についてですが、手を挙げて頂いたのが川滝、豊岡、燕崎の3地区で実施する予定になります。これに対して市におきましては、人的、財政的支援を行う予定としております。この事業についての進捗状況については、逐次ホームページやケーブルテレビ等で周知していきたいと考えております。</p> <p>なお、本協議会の次回日程ですが、年度末に事業進捗状況などを報告する内容で開催する予定としておりますので、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>ボランティア市民活動センターの運営ですが、将来的には社協が指定管理者になるのではなく、NPO や民間のボランティア団体によるセンター運営が望ましいと考えます。</p>
事務局	<p>これについては、計画の第6章ボランティア市民活動センターの機能強化の中の運営主体の項目で明記されていますように、センターの運営を委ねることが出来るNPO 法人を行政、センター、社協の協働により発掘、また育成支援を行っていくことが、今後の重要な課題となります。</p>
会長	<p>運営主体については、市や社協の職員が減少する中、協働というかたちで、それを補完するなか、NPO などボランティア団体等が運営する流れになってくると考える。</p>

委員	センターは今市内に1ヵ所ですが、川之江、三島、土居、新宮の各地区に地元根付いた委託先団体が担うのがいいのではないかと。
センター長	センターが設置される前までは、社協の各支所ではボランティアセンター的機能があった。
委員	私は、公民館活動に携わってきましたが、市の今年度からの取り組みで、コミュニティ協議会の立ち上げにも関連していると考えますが、公民館単位でのボランティア等の機能強化を期待しています。